

◇◇◇ 06 同窓会 ～平成 6 年度入学生（06）、21 期卒業生～ ◇◇◇

令和 6 年 10 月 13 日（日）にエアラインホテル宮崎にて「06 同窓会」と称し、平成 6 年度入学生（通称 06）を中心とした同窓会を開催しました。留年して落ちてきた人、留年して卒業が延びた人も関係なく、仲良かったメンバーで集まろうということになり、5 月頃から準備を始めました。名古屋で開業している瀬田浩之先生を中心に、宮崎大学脳神経外科の山下真治先生、その奥様で宮崎大学産婦人科の山下理絵先生、宮崎大学安全保健センターの水口麻子先生、そして 21 期生評議員の國枝という幹事会で準備に臨みました。当初の参加は「20 人くらい集まれば良いね」と居酒屋やらフレンチレストランやらを考えていました。ところが人が人を呼んだのか、最終的に 47 人まで参加者が増える始末。幹事一同嬉しい悲鳴を上げるとともに、「時間がないのにどうすれば？」という不安に。会場変更すること 4 回、幸い山下理絵先生の尽力でエアラインホテルの宴会場の予約が取れました。

宮崎大学精神科教授に着任された平野羊嗣先生をはじめ、日本全国それぞれの地にて第一線で活躍している精鋭達が集結いたしました。前日から宮崎入りし、前夜祭を楽しんでいた参加者もあり、皆それぞれに懐かしの宮崎を堪能していたようでした。

いざ同窓会が始まると皆すぐに学生時代のノリに戻り、卒後 24 年という年月を感じさせないような大盛り上がり。予定していた 2 時間もあっという間でした。もつべきは仲間、同級生の絆は有り難い。2 次会も 30 人近く参加があり、バーを貸し切って飲み続け喋り続けました。あまりに注文が多すぎて店員さんがまったく対応できていませんでしたが。

2 次会の終わりに大雨が降るというアクシデントにも関わらず、3 次会まで飲み続ける猛者たちもありました。

06 はユニーク入試の時代でありながら、合格倍率が約 20 倍という超難関の年でした。年齢は現役から 40 歳以上までバラバラでしたが、優秀かつ個性的な学生が多かった印象です。

今後は 4 年おきのオリンピックイヤーにあわせて開催することといたしました。

[文責：國枝 良行 21 期生代議員（あけぼの診療所）]

